

6. 啓発イベント

55. 安房からのチャレンジ大会

活動分野	啓発イベント 就労支援	活動に参加している障害者			
		障害種別	身体	年齢	18～64 歳
活動地域	千葉県安房地域 (館山市、鴨川市、 南房総市、鋸南町)	実施主体 [NPO]	名 称:安房からのチャレンジ大会実行委員会 (事務局 NPO 法人 ふぁっとえばー) 住 所:千葉県館山市北条 2199 番地 3 電 話:0470-30-9188 fax:0470-30-9188		

活動概要

「障害のある人も、共に働き、共に生きる社会づくりを」めざし、毎年、講演会や座談会等を中心とした大会を開催し、啓発を行なっている。開催会場は特定せず、安房地域内を巡回するように実施しているため、実施者の理念は着実に浸透している。

平成 21 年は、10 月 4 日に 6 回目の大会を開催し、一般の方々、企業、社会福祉団体、NPO、ボランティア団体、官公庁等広く参加を呼びかけた。

第 1 部では「障害のある人の雇用について」をテーマに、障害者を雇用している地元企業、安房特別支援学校の教員らが事例を報告し、第 2 部では自閉症をテーマにした映画上映を行い、来場された企業や地域の方々などの障害への理解を深めるとともに、安房地域における障害のある人に係る共生社会の実現に向けて前進することが出来た。



大会実行委員長(身体障害のある人)が代表を務める NPO 法人ふぁっとえばーは、障害のある人自らが事業(印刷関係)を営み、他の障害福祉サービス事業所と業務提携した運営も行っている。また、定期的に機関紙を発行し、障害のある人のためにもっと働ける社会の実現に向けて、広く普及啓発に努めている。

活動を始めた背景・経緯

「チャレンジド(障害のある人)が納税できる社会を」の理念の下、平成 15 年 8 月に「チャレンジド千葉県大会」が開催され、それを契機に、安房地域において平成 16 年 3 月に「第 1 回安房からのチャレンジド大会」を開催した。

大会実行委員会の事務局を担当する「NPO 法人ふぁっとえばー」は障害のある人の就労支援運動を展開しており、最初、設立者とその意図に賛同する数名の有志によって始められた。

1997 年に設立者自ら障害のある人となり、生活の在り方を独り模索し苦しんでいる時に、有志たちに、「同じ障害を持つ仲間に来て、いろいろ語り合う機会をつくれないうか」と話し、それに応じて「輪っか・ふぁっとえばー」というサークルを結成されたのが始まりである。

活動目的

- ・フォーラム、イベントを通じて障害への理解を深めるとともに、安房地域における障害のある人に係る共生社会の実現を目指す。
- ・PCを使って点字名刺、印刷等の制作、販売活動を通じて障害のある人の技術を発揮し自立を目指す。



活動の成果又は効果

年1回開催している「安房からのチャレンジド大会」には、福祉関係者だけでなく地域の人たちや企業等の参加者が増えてきており、ふぁっとえぱーを支援してくれる人も増えてきている。

活動を継続する上で工夫した点

- ・多くの人に賛同していただくために活動PRを兼ねて様々な行事のイベントに出店参加している。
- ・年4回ふぁっとえぱー通信を作成し、会員、福祉関係者、官公庁、企業及び名刺交換者に活動内容等報告している。

活動を継続する上での課題

運営資金調達のため、助成金応募や市、町の印刷入札参加申込の活動を行っているが、獲得には結びついていない。

共生社会実践活動として今後予定しているもの又は実施してみたいもの

収益をあげるようなPCを使っての事業の幅をひろげていき、障害のある人が自活できるようにしたい。

実施体制

職員数：有給スタッフ1人(常勤)、無給スタッフ1人(常勤)、ボランティアスタッフ8人

障害福祉サービス事業所と業務提携(点字打刻、ミニ新聞印刷)している。



キーワード

障害者就労支援、点字名刺、パソコン

56. 啓発イベント「みんな知らんと！精神障害」の開催

活動分野	啓発イベント	活動に参加している障害者			
		障害種別	身体・知的・精神	年齢	18歳以上
活動地域	奈良県 吉野郡大淀町	実施主体 [NPO]	名称:NPO法人 吉野コスモス会 住所:奈良県吉野郡大淀町下淵 862 - 4 電話:0747-53-2215 fax:0747-53-2215		

活動概要

地域に住む人に精神障害についての正しい情報を知ってもらおうと、啓発イベント「みんな知らんと！精神障害～障害のある人もない人もともに暮らす地域づくり～」を実施した。

当日は、地域の人たちが気軽に参加しやすいよう、映画「ふるさとをください」の上映をメインイベントに、精神障害についてのパネルや障害のある人が製作した工芸品や絵画の展示、地域の福祉事務所などが出店するバザーの開催などを行い、参加した地域の人々に精神障害についての理解促進を図った。

また、準備の段階から精神障害のある人にも関わってもらい、地域のボランティアの方との交流を図った。



活動を始めた背景・経緯

病院に入院している精神に障害のある人で、症状が安定しているが社会資源や地域の理解がないために退院できない人は約7万人いるとされている。このような人たちを支援するために吉野コスモス会では、昨年、県より退院促進等機能強化事業を受けて地域啓発や専門性の向上を目的とした活動を進めてきた。

その中で、地域の人達に普段なかなか知ることのない障害について身近に知ってもらうきっかけを作ろうとイベント実施に至った。

活動目的

障害について正しい理解をしている人はまだ少なく、知ることというのも少ないのが現状である。そこで、知ってもらう、交流してもらうきっかけを作り、障害について正しい理解を普及させ、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすい地域づくりを行うことが目的である。

3月7日 みんな知らんと!!
精神障害
～障害のある人もない人も、ともに暮らす地域づくり～
(奈良県精神障害者退院促進機能強化事業)

13:00-13:50 [12:00開場]
◆「ふれあいトーク」

14:00-16:40
◆映画「ふるさとをください」上映
前売り1-般 1,000円 当日 600円
日1-般 1,200円 当日 600円
●割引対象者-学生、障害者学生、高齢者(60歳以上)

●ほっとマーケット (バザー)
たこ焼き・焼きそば・串焼き・せんべい
四角トランプ・ジャムなどほか

●こころの健康パネル展
●作品展品の展示

【開催日時】
2009年3月7日(土)
11:00~16:30
【場所】
大淀町文化会館 (あらかしホール)
奈良県吉野郡大淀町大淀中2-9-9
※会場と最寄りバス停留所までの送迎バスは、当日のみ運行いたします。送迎バスは、当日のみ運行いたします。

主催: 奈良県 / 主催: NPO法人吉野コスモス会 地域活動支援センターのどか
協賛: 奈良県「ふるさとをください」上映実行委員会

お問い合わせ 活動支援センターのどか TEL. & FAX 0747-53-2215-2153

活動の成果又は効果

昨年行った啓発イベントでは、約 600 人もの地域の人達が参加し、障害について考えるきっかけを持ってもらうよい機会となったといえる。それだけでなく、協力してもらったたくさんの地域の人たちとの横のつながりが生まれ、地域にとって大きな財産となった。

参加した人からは、ボランティアの希望や障害について誤解していた、勉強になった...などたくさんの意見が寄せられた。



活動を継続する上で工夫した点

昨年度から取組みを始めたため、継続していくのはこれからの課題である。また、昨年は事業の一環として取組みを行ったが、次回からは地域が中心となり、他団体や地域の人たちなど一緒に巻き込んで、活動が継続できるように検討しているところである。

活動を継続する上での課題

身近なイベントにしていきたいと考えるが、どうしても費用の関係は課題であり、場所や準備費等、経費が必要になってくる。また、たくさんの地域の関係者を巻き込んで進めていきたいが、賛同者を増やしていくにはさらなる連携や活動の推進が必要である。

共生社会実践活動として今後予定しているもの又は実施してみたいもの

「障害」という言葉だけで判断するのではなく、人として交流することが一番分かりやすい理解に繋がるのではないかと考える。そのため、実際に障害のある人と一緒に何かしらの活動を通して交流できる場を提供できればよい。

また今後、学校などに出向き、障害についての正しい知識などを広める活動を実施したいと考えている。

実施体制

・実行委員会の体制

吉野コスモス会スタッフ、地域の福祉事業所、ボランティア、吉野コスモス会後援会、地元高校生など。

キーワード

啓発イベント、交流、地域

